

ISO14005の発行

ISO14001の認証取得により二酸化炭素排出量の削減と競争力向上に成功した企業

東京都港区の株式会社光文社(従業員20名、資本金2,080万円)は、CTP²⁸による印刷から納品までの一貫したシステムを持ち、ISO14001により二酸化炭素排出量の削減に努めている企業である。

同社は、2000年にISO14001の認証取得活動を開始、その過程で法規制遵守やMSDS²⁹ 管理等の知識を社内で共有、社員の意識改革につなげた。また、PDCAサイクル³⁰ による継続的改善の成果として、ISO14001の認証を取得した2004年から2009年までに、一般廃棄物排出量を体積で81%削減し、電力使用による二酸化炭素排出量を27%削減した。リーマン・ショック後の景気後退にも同社への顧客の信頼は揺らぐことなく、健全経営を続けている。

同社は、全日本印刷工業組合連合会がインターネットによりISO14001 の認証取得支援を行う「環境経営印刷ネットワーク」を活用した。同ネットワークには、認証取得に必要な規程、手順書、帳票類などの雛形やeラーニングのシステムが用意されている。これらを用いて、参加企業は、各社の事情に合わせて環境マネジメントシステムを構築できる。また、ネット審査によって現地での審査の負担を減らすことができ、従来に比べて認証取得に係る費用や期間を大幅に低減し、最短4か月での取得が可能となった。

2010年10月には、中小企業向けにISO14005³¹の発行が予定されており、ISO14001 の認証取得につながる段階的な国際規格として注目されている。

・ISO14005～環境マネジメントシステム(ISO14001)の段階的適用の指針

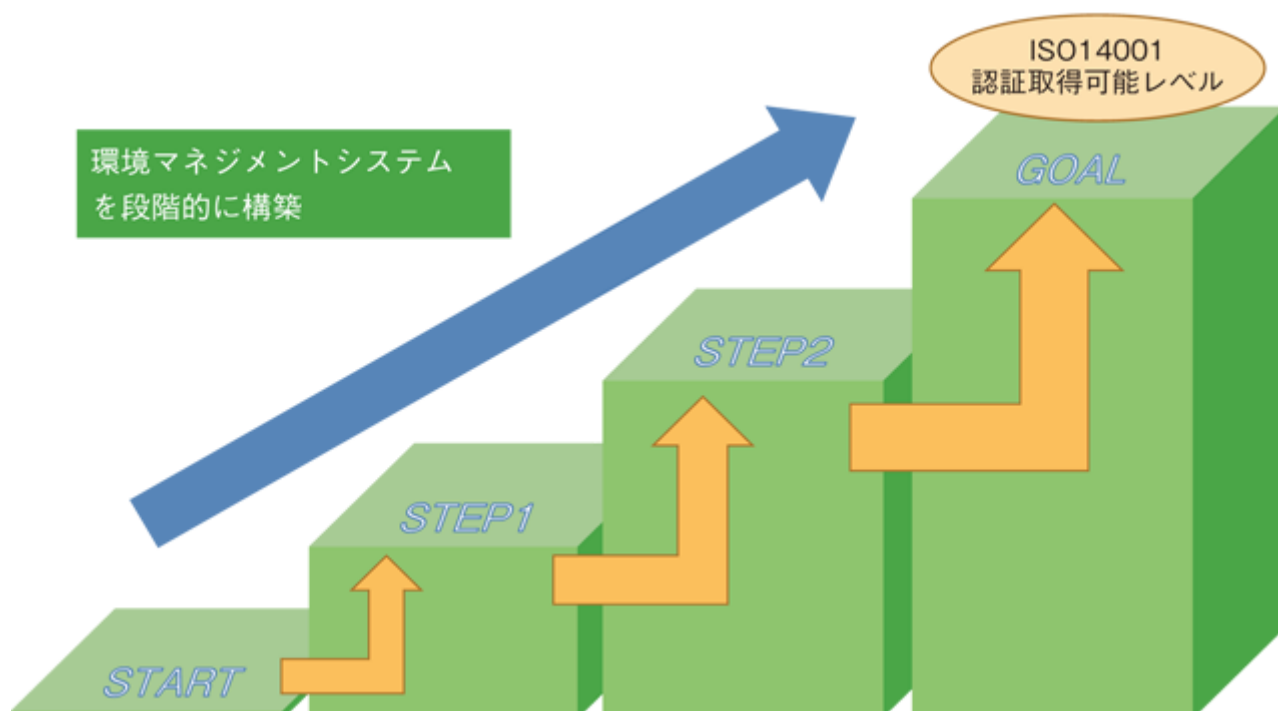
ISO14001 の要求事項を複数の段階に分割し、段階ごとに構築していくことで、中小企業でも円滑にISO14001 認証取得レベルに到達できるようにするもの

²⁸ Computer to Plateの略で、コンピューターを用いた直接製版をいう。

²⁹ Material Safety Data Sheetの略で、化学物質の安全データシートをいう。

³⁰ Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Act(改善)の4段階からなる事業活動において生産管理や品質管理等を円滑に進める手法をいう。

³¹ 環境マネジメントシステム段階的適用の指針をいう。環境マネジメントシステムを段階的に構築し、ISO14001の認証を円滑に取得することを目的としたガイドライン。新たに環境マネジメントシステムを導入する中小企業での活用が期待されている。



中小企業における活用が期待されるISO14005の概念図